

船橋中央病院地域協議会対応状況

開催日	委員属性	構成員の意見	対応（反映）状況
R6. 3. 28	行政	<ul style="list-style-type: none"> ○船橋市より小児医療の現状報告と要望あり現在、船橋市及び周辺地域における小児病床が不足している状況であり、市内の小児人口は 2025 年で 7 万 5 千人、20 年後の 2045 年には 7 万 2 千人を維持する将来構想が示されているところである。しかしながら、市内において小児病床を有する病院が、ここ 20 年で 4 病院から 2 病院に減少し、併せて 46 床という現状。更には隣接する習志野市と鎌ヶ谷市にあっては小児病床を有する病院がない。以上の状況から、貴院の建て替え移転時には、周産期センターを維持しつつ、小児病棟の再開を是非お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○船橋市の要望に対する回答 新病院の建設にあたり、地域医療に貢献したい気持ちもあり、検討してきたところであるが、小児病棟の再開にあっては、経営面や医師確保の観点から難しい状況である。船橋市の意向も踏まえ、改めて JCHO 本部と協議・検討していく。
R7. 3. 5.	行政	<ul style="list-style-type: none"> 船橋市健康部長 高橋様より、病院が日本建鐵跡地等へ移転する場合、現在より病院までの距離が遠くなる住民等のため、巡回送迎バスを出すなどの移動手段を確保出来るか意見があつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 当院としては前向きに検討をしていきたいと考えております。

			•

o